

## NFRJ08 研究会関連資料

### 資料 1. NFRJ08 研究会メンバー募集 (2010. 2. 17 日本家族社会学会メールマガジン)

NFRJ08 (第3回全国家族調査) 研究会のメンバーを募集します

日本家族社会学会全国家族調査 (NFRJ) 委員会では、2010年4月より1年間、NFRJ08 データを用いた研究会を開始いたします。家族社会学会の会員であれば、どなたでも参加することができます。

以下の要領で申し込みを受け付けますので、関心のある方はぜひご応募ください。家族の経験的な研究、計量的な研究に関心のある会員の参加をお待ちしています。

#### NFRJ08 研究会について

##### 活動内容：

- メンバーは、自分の関心に基づいて NFRJ08 データを用いた分析を行います。その経過を研究会 (年間3回、5月・8月・12月を予定) で報告すること、最終的にデータを用いた論文を提出していただくことが義務となります (2011年1月末ころを予定)。
  - 提出された論文は、NFRJ08 第2次報告書として日本家族社会学会全国家族調査委員会より刊行されます (2011年3月末ころを予定)。
  - 分析結果を学会で報告すること、投稿することには何らの制約はありません。ただし、発表された成果はかならず研究会に提出していただきます。
  - 提出される論文は、NFRJ08 を用いた既発表の投稿論文などの再録でも認められます。
  - 研究会で報告をされる場合には、遠方の会員には旅費を補助いたします。
- なお、これら研究会の費用はトヨタ財団からの助成をうけて行われます。

##### 参加申し込み：

以下の申込書に必要事項を記入の上、3月10日までにメールにてお申し込みください (3月10日以降も申し込みは随時受け付けますが、なるべくそれ以前にお申し込みください)。

また、研究会についてのお問い合わせにも応じますので、気軽にお知らせください。

NFRJ08 実行委員会委員長 稲葉昭英 (首都大学東京)

NFRJ08 実行委員会事務局長 永井暁子 (日本女子大学)

---

#### NFRJ08 研究会参加申込書

NFRJ08 研究会への参加を申し込みます

お名前：

ご所属：

連絡先：

分析計画：(できるだけ具体的に)

その他のご希望など：

## 資料 2. NFRJ08 データ利用申請書

### 第 3 回全国家族調査 (NFRJ08) 個票データ 2010 年度学会内利用 (NFRJ08 研究会用) 申請書

日本家族社会学会 全国家族調査委員会委員長 殿

第 3 回全国家族調査個票データの 2010 年度学会内利用を申請します。利用にあたっては、本申請書に記載された「利用にあたっての誓約事項」を厳守します。

#### 利用にあたっての誓約事項

1. 提供された調査個票データは、学術目的に限って利用します。
2. 利用にあたっては、調査対象の秘密保護を図り、個々の調査対象が識別できる形式では発表しません。
3. 提供された調査個票データを第三者には提供しません。
4. 使用期間は 2010 年 4 月から SSJDA でのデータ公開までとし、期間終了後速やかに提供された調査個票データを消去します。
5. 期間中に、提供された調査個票データを用いた研究成果を発表する場合には、全国家族調査委員会 NFRJ08 研究会に報告し、再録等についてはその指示に従います。その際、全国家族調査委員会から調査個票データの提供を受けたことを記載します。発表した論文等は、NFRJ08 研究会事務局に 1 部提出します。
6. 提供された調査個票データ等の利用により何らかの不利益を被ったとしても、全国家族調査委員会の責任は一切問いません。

申請年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

* 申請者氏名 (自著) _____ 印
所属・職名 _____
住所 (自宅) _____
電話 _____ FAX _____
E-mail _____

### 資料 3. 「NFRJ08 研究会について」(2010. 4. 1. NFRJ08 研究会内で配布)

#### NFRJ08 研究会について

2010 年 4 月 1 日

##### 組織：

- 1 これまでの NFRJ08 データの作成にあたってきた、NFRJ08 実行委員会を母体とする。

代表：稲葉昭英（首都大学東京人文科学研究科）

事務局：田中重人（東北大学文学研究科）

幹事：澤口恵一（大正大学人間学部）、嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院）、田淵六郎（上智大学総合人間科学部）、永井暁子（日本女子大学人間社会学部）、西野理子（東洋大学社会学部）、西村純子（明星大学人文学部）、福田亘孝（青山学院大学社会情報学部）、松田茂樹（第一生命経済研究所）、保田時男（大阪商業大学総合経営学部）

- 2 本研究会は NFRJ08 第 2 次報告書の作成を目標とし、NFRJ08 データが SSJ データアーカイブから一般公開されるまで存続する。

##### 権利：

- 1 2010 年度中（2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日）に NFRJ08 データをつかって自由に報告・発表することができる。
- 2 2010 年度末に刊行される、NFRJ08 第 2 次報告書に研究論文を掲載することができる。

##### 義務：

- 1 2010 年度中に報告した学会報告、論文等はすべて NFRJ08 研究会事務局に報告し、論文等は NFRJ08 第 2 次報告書に再録する。
- 2 NFRJ08 を用いて学会報告、論文執筆をする場合には、必ず次の一文をいれる。  
「第 3 回全国家族調査 (NFRJ08) データの使用にあたっては、日本家族社会学会全国家族調査委員会の許可を得た。」(日本語の場合)  
「The author gratefully acknowledge the permission for the use of the National Family Research of Japan 2008 (NFRJ08) data by the NFRJ Committee, Japan Society of Family Sociology.」(英語の場合)
- 3 NFRJ08 第 2 次報告書に、1 本以上の論稿を提出・執筆する（再録を含む）。なお、原稿提出の期日は 2011 年 1 月 10 日を当面の締め切り日と設定する。枚数、書式などの執筆要領などは今後定めるが、400 字×50 枚程度を当面標準とする。
- 4 研究会メンバーは、テーマに応じて班に所属する。班には世話人を置く。班の所属は、本人の希望によって変更可能なものとし、どの班の発表も、他の班のメンバーの聴講・参加を認める。
- 5 2010 年度中に開催される各班の研究会で途中経過ならびに最終結果を報告する。

##### 注意：

- 1 NFRJ08 データが東京大学 SSJ データアーカイブに寄託された後（2011 年度を予定）は、NFRJ08 データ利用者はあらためて SSJ データアーカイブにデータ利用を申請する。
- 2 班の運営についての情報は、各班の世話人からなされる。
- 3 データやシンタックスのダウンロードについてはメーリングリストを通じて情報を流す。
- 4 NFRJ08 以外のデータを使用する場合、データ利用手続きなどは各自でおこなう。なお NFRJ の過去の調査データは SSJ データアーカイブで入手できる。

## 資料 4. 研究会参加者と班構成 (2011.7 現在)

### 第1班「ワークライフバランス／女性のライフコース」

田中 重人 (東北大学 文学研究科)  
 筒井 淳也 (立命館大学 産業社会学部)  
 西村 純子 (明星大学 人文学部)  
 高橋 桂子 (新潟大学 教育学部)  
 鈴木 富美子 (明治大学 情報コミュニケーション学部)  
 乾 順子 (大阪大学大学院 人間科学研究科)  
 井田 瑞江 (関東学院大学 文学部)  
 内田 哲郎 (くらしのつくり方研究所)  
 裴 智恵 (慶應義塾大学 文学部)  
 杉野 勇 (お茶の水女子大学 文教育学部)  
 松信 ひろみ (駒澤大学 文学部)  
 松井 真一 (岐阜大学 男女共同参画推進室)

### 第2班「世代間援助関係・介護」

田淵 六郎 (上智大学 総合人間科学部)  
 田中 慶子 (家計経済研究所)  
 加藤 彰彦 (明治大学 政治経済学部)  
 嶋崎 尚子 (早稲田大学 文学部)  
 大和 礼子 (関西大学 社会学部)  
 角 能 (東京大学大学院 教育学研究科)  
 施 利平 (明治大学 情報コミュニケーション学部)  
 金 恵媛 (山口県立大学 国際文化学部)

### 第3班「出生行動・育児・情緒構造」

福田 亘孝 (青山学院大学 社会情報学部)  
 永井 暁子 (日本女子大学 人間社会学部)  
 品田 知美 (立教大学 コミュニティ福祉学部)  
 賀茂 美則 (ルイジアナ州立大学 社会学部)  
 小林 奈美 (北里大学 看護学部)  
 西野 理子 (東洋大学 社会学部)  
 相星 香 (北里大学大学院 看護学研究科)  
 松田 茂樹 (第一生命経済研究所)  
 島 直子 (早稲田大学 創造理工学部)  
 澤口 恵一 (大正大学 人間学部)  
 赤川 学 (東京大学 人文社会系研究科)  
 山岸 貴子 (北里大学大学院 看護学研究科)

### 第4班「階層・ネットワーク」

稲葉 昭英 (首都大学東京 人文科学研究科)  
 平沢 和司 (北海道大学 文学研究科)  
 金 貞任 (東京福祉大学 社会福祉学部)  
 荒牧 草平 (九州大学 人間環境学研究院)  
 高田 洋 (札幌学院大学 社会情報学部)  
 保田 時男 (大阪商業大学 総合経営学部)  
 中西 泰子 (相模女子大学)  
 菅野 剛 (日本大学 文理学部)  
 大日 義晴 (首都大学東京大学院 人文科学研究科)  
 吉田 崇 (東京大学 社会科学研究所)  
 山根 真理 (愛知教育大学 教育学部)

## 資料 5. NFRJ08 研究会の活動記録

2010年2月	メンバー募集
2010年4月1日(木)	NFRJ08 研究会発足。メーリングリストを開設、NFRJ08 データ (Ver. 3) 配布
2010年7月3-4日(土-日)	第1回研究会 (首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室)
2010年9月10日(金)	第1班「ワークライフバランス／女性のライフコース」研究会 (関東学院大学 関内メディアセンター)
2010年12月18日(土)	第2班「世代間援助関係・介護」および第3班「出生行動・育児・情緒構造」研究会を合同で開催 (上智大学)
2010年12月25-26日(土-日)	第4班「階層・ネットワーク」研究会 (首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室)
2011年2月17日	NFRJ08 データ (Ver. 4) 配布
2011年5月31日	NFRJ08 第2次報告書への掲載論文の原稿締切
2011年7月23-24日(土-日)	研究報告会 2011 (日本女子大学 目白キャンパス 新泉山館 1階 大会議室)
2011年7月31日	NFRJ08 第2次報告書掲載原稿を確定

## 資料 6. 研究会における報告タイトル

(\* は資料のみによる参加)

### 第 1 回研究会

日程：2010 年 7 月 3 日(土) 13:00～18:00; 2010 年 7 月 4 日(日) 9:30～16:00

会場：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室

稲葉昭英：NFRJ08 研究会と今後のスケジュールについて

田中重人：NFRJ08 研究会に関する連絡事項

永井暁子：科学研究費補助金とトヨタ研究助成について

西野理子：NFRJ-08 パネル

福田亘孝：結婚と出産の変化と持続性：未婚化・晩婚化は少子化の要因か？

田淵六郎：世代間居住関係の変容と規定要因：NFRJ08・03・98 の比較を通じて

田中重人：離婚経験者にみる等価世帯所得の男女格差とその要因：第 1-3 回全国家族調査データによる定量的分析

内田哲郎：ワーク・ファミリー・コンフリクトの諸相

赤川学：有配偶女性の子ども数：地域差を中心に

品田知美：母親の子どもへのかかわりからみた家族の差異のありか：1998 年/2008 年の比較から

賀茂美則：父子関係の質：その歴史的变化と規定要因について

澤口恵一：きょうだい数が結婚タイミングにもたらす効果のコーホート分析

保田時男：NFRJ のダイアド集積を活用したマルチレベル分析の構想

菅野剛：サポートネットワークに関する記述的分析

大日義晴：結婚がディストレスに及ぼす影響

山根真理：NFRJ08 研究会に参加するにあたって：これまでの研究と問題意識

高田洋：援助と相談相手の分析

鈴木富美子：既婚女性の再就職パターン：NFRJ からみた既婚女性のライフコースの変化

西村純子：乳幼児をもつ母親の就業の規定要因：NFRJ03 と NFRJ08 の比較

乾順子：就業と意識は家事分担に差異をもたらすのか？

永井暁子：家族と地域性

加藤彰彦：日本家族の地域性：問題の所在

中西秦子：老親扶養規範意識の要因分析：地域特性と個人属性

稲葉昭英：結婚経歴と子どもの教育達成

金貞任：既婚の子どもへの親と義理の親への経済的サポートの変容と影響要因：NFRJ08・03 のデータを用いて

荒牧草平：学歴の家族・親族間相関に関する基礎的研究：祖父母・オジオバ学歴の効果に着目して

松信ひろみ：共働き夫婦における夫の家事育児遂行に対する妻の満足度とサポートネットワーク

松井真一：子どもの妊娠・出産による就業継続の要因分析：サポートネットワークの影響について

島直子：妻の就労が夫の性別役割分業意識に及ぼす影響：夫の経済的・社会的地位による交互作用

山岸貴子・小林奈美：家族機能と健康状態の関連について

西野理子：全国家族調査 (NFRJ) にみる家族認知の動態

平沢和司：きょうだい構成と教育達成

嶋崎尚子：近代的親子関係モデルのゆくえ：親子関係は脱制度化していくのか

角能：老親扶養規範の家族意識における位置づけの考察：夫婦間の『親性』に注目して

田中慶子：実親との関係良好度の規定要因とその変化  
大和礼子：高齢者と成人子の同居\*  
松田茂樹：父親の育児参加の変容\*  
施利平：世代間関係における非対称性：夫方と妻方の比較、きょうだい間の比較を中心に\*  
井田瑞江：生活満足度の規定要因：家庭生活の状況およびワークライフバランスの状況から\*  
高橋桂子：W→FCを媒介変数としたパスモデルの検討\*

### 第1班研究会

日時：2010年9月10日（金）11:45-16:45

会場：関東学院大学「KGU 関内メディアセンター」801 教室

井田瑞江：在宅時間からみる家庭生活の実態  
乾順子：就業と家族に関する意識は家事分担に差異をもたらすのか？：NFRJ08 データを用いた分析  
西村純子：乳幼児をもつ母親の就業の規定要因：NFRJ03 と NFRJ08 との比較  
筒井淳也：日本の家事分担における性別分離の分析\*  
内田哲郎：WFCの諸相  
高橋桂子：Job Demand-Resource モデル  
裴智恵：男性のワーク・ファミリー・コンフリクトからみる性別役割分業  
鈴木富美子：既婚女性の就業パターン：NFRJ からみた10年間における既婚女性のライフコースの変化  
松井真一：妊娠・出産による就業継続の要因分析：サポート・ネットワークの影響について  
田中重人：第1子の妊娠／出産による女性の仕事の変化

### 第2班研究会

日時：2010年12月18日（土）10:30~16:50

会場：上智大学 2号館 15階 1530b 会議室

田淵六郎：世代間居住関係の変容と規定要因  
田中重人：両親との死別経験：NFRJ98 と NFRJ08 の比較  
大和礼子：父系同居慣行のゆくえ  
角能：壮年期女性の老親扶養規範に関する規定要因の考察：『家事援助経験』や『外部の介護資源』に注目して  
田中慶子：実親との関係良好度の規定要因とその変化  
加藤彰彦：家族構造と人口事象の地域性

### 第3班研究会

日時：2010年12月18日（土）10:00-17:00

会場：上智大学 2号館 15階 1530a 会議室

福田亘孝：日本の晩婚化と少子化の関係：同時確率モデルによる分析  
西野理子：性別役割分業意識の変動をめぐって  
山岸貴子：精神的健康度に関連する因子：年齢、収入、会話時間に注目して  
田中重人：乳幼児を持つ親と祖父母との同居率

島直子：妻の家計貢献が夫の性別役割分業意識に及ぼす影響：夫の社会経済的地位による  
交互作用

賀茂美則：父子関係の質とその規定要因の近年における変化について

松田茂樹：父親の育児参加の変容

永井暁子：

品田知美：母親の子どもに対するかかわりかたはどうか変化したか

#### 第4班研究会

日時：2010年12月25日（土）13:30-18:40；2010年12月26日（日）9:30-14:40

会場：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室

大日義晴：配偶者のサポートとディストレス

中西泰子：老親扶養規範意識の要因分析

高田洋：相談相手のサポートパターンの分析

平沢和司：きょうだい構成と教育達成

山根真理：サポートの地域・社会階層的文脈

田中重人：離婚後の生活における男女の経済格差

菅野剛：サポート・ネットワークについての基礎分析

保田時男：マルチレベル・モデリングによる世代間関係の分析

吉田崇：階層（職業）同類婚について

金貞任：既婚子の親へのサポート：非経済的サポートを中心に

稲葉昭英：非初婚継続家族の諸相

#### 研究報告会 2011

日時：2011年7月23日（土）13:00～18:30；2011年7月24日（日）9:30～17:30

会場：日本女子大学（目白キャンパス）新泉山館 1階 大会議室

松田茂樹：NFRJ からみた父親の育児参加の変容

賀茂美則：父子関係の質とその規定要因の近年における変化について

保田時男：マルチレベル・モデリングによる NFRJ データの分析方法：ダイアド集積型家  
族調査の有効活用

福田亘孝：晩婚化は少子化をもたらすか？：誤差相関モデルによるイベント・ヒストリー  
分析

菅野剛：サポート・ネットワークにおける身近な家族の重要性の変化：1998年-2008年の  
比較から

大日義晴：有配偶者のサポート構造

島直子：妻の家計貢献が夫の性別役割分業意識に及ぼす影響：夫の社会経済的地位による  
交互作用

乾順子：正規就業と性別役割分業意識が家事分担に与える影響：NFRJ08 を用いた分析

内田哲郎：家族役割の何が阻害されることが問題か：Work-Family Conflict を規定する家  
族役割の男女間の相違

松井真一：既婚女性の就業とサポート・ネットワーク：多項ロジット・モデルによる就業  
形態とネットワークの比較分析

鈴木富美子：既婚女性の就業パターンとワーク・ライフ・バランス：NFRJ の10年間の変  
化とライフステージに着目して

田中重人：The Economic Situation of Those Who Have Experienced Divorce：The Gender  
Gap in Equivalent Household Income

- 荒牧草平：学歴の家族・親族間相関に関する基礎的研究：祖父母・オジオバ学歴の効果とその変動
- 平沢和司：きょうだい構成が教育達成に与える影響について：NFRJ08 本人データときょうだいデータを用いて
- 稲葉昭英：親との死別／親の離婚・再婚と子どもの教育達成
- 山岸貴子・小林奈美：子どものしつけに影響を与える家族の要因
- 金貞任：既婚子の実親と義理親への非経済的サポート
- 角能：女性の老親扶養規範に関する実証的考察：「規範構造」（理念）と「実践構造」（日常）に注目して
- 嶋崎尚子：NFRJ08 からみた中期親子関係：親子間での相談のやりとりをめぐって
- 田中慶子：実親との関係良好度の規定要因
- 田淵六郎：世代間居住関係の変容と規定要因：NFRJ08・03・98 の比較を通じて
- 永井暁子：初婚と再婚の満足感の相違：地域特性にてらして
- 大和礼子：父との同居と母との同居：規定要因はどう異なるか\*